

第2章

「イイタイコト」の核心に迫る 黄金の7行ルール

1枚のスライド内の情報量を絞り込む有効な方法に「黄金の7行ルール」があります。歯止めがないと情報はどんどん増えていくため、ルールで自己規制をかけることで簡潔で無駄のないスライドを目指します。

この「黄金の7行ルール」の精神はスライド全体に広がることで、最終的にプレゼンの「イイタイコト」が何なのか、その核心に迫るために重要なステップとなります。本書で一番強調したい部分の1つです。

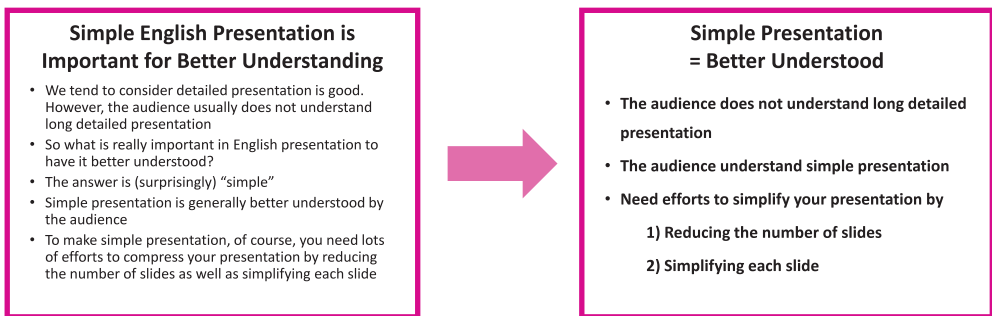
Master Point

- ▶ 「黄金の7行ルール」と、その重要な役割を知ろう
- ▶ 「黄金の7行ルール」を死守するためのテクニック(情報圧縮術)を学ぼう
- ▶ 「黄金の7行ルール」の精神をスライド全体に広げて「イイタイコト」に迫ろう

1 黄金の7行ルール

①① 7行ルールとは？

7行ルールとは、スライド最上部のタイトルを除いて「**スライドの文章は必ず7行以内におさめる**」という単純なものです。これは、スライドの簡潔性を保つための行数制限であり、スライドの見やすさを考えると7行が限界だからです(日本語のスライドの場合、漢字の効果で情報が圧縮されるので6行としています。姉妹書『流れがわかる学会発表・論文作成 How To』)。このルールを知っていても守りきるのはそう簡単ではありません。

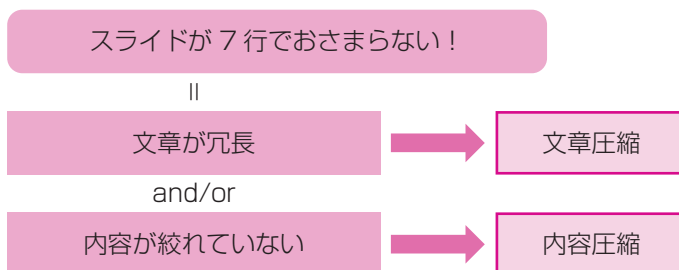


7行ルールに従わなかったスライドと従ったスライド。見やすさの違いは一目瞭然！でも「**イタイコト**」は変わっていません。

スライドは**伝える情報量が減れば減るほど、伝えられる側は伝えられた情報を受け取りやすくなり**、下記の法則が成り立ちます。

$$\text{発信する情報量} \propto \frac{1}{\text{受け手が吸収できる情報量}}$$

逆に**7行以内におさまらないのは、「イタイコト」をまとめきれていないから**です。内容の圧縮には、**本当に伝えたいこと以外は捨ててしまう**勇気が必要です。





①② 文章を圧縮する方法

冗長なスライドを7行ルールに従って圧縮するには、①内容を減らす、②修飾語を減らす、③文の構成を変更する、の3つの方法があります。

早速、13行もある以下のスライドを使って、1文1文の圧縮を実践していきたいと思います。まずは「**イタイコト**」を確認しましょう。タイトルからして「シンプルなライフスタイルはよい精神衛生(mental hygiene)状態を維持するのに重要だ」という内容なので、**このメッセージにつながっていく内容を残し、つながらない内容は容赦なく消し去ります。**

2～3語の熟語は大抵なんらかの方法で短くまとめたり省略したりできます。代名詞はスライドで省略できることが多いので工夫してみましょう。また、受動態の文は冗長な印象を与えます。能動態や形容詞での置き換えができないか考える癖をつけましょう。

Simple Life style is Important to maintain good mental hygiene

- Our daily life tends to be complex due to our business, personal life, etc.
- We tend to be obsessed with our everyday issues, most of which are usually small things
- As a result, our mental hygiene is easily harmed by these small things
- So what can we do for that?
- In order to maintain good mental hygiene, it would be important to keep our life style as simple as possible
- Probably we should take some time to consider the purpose of our life --- for what am I doing this?
- Sometimes we need to be brave enough to cut down our business

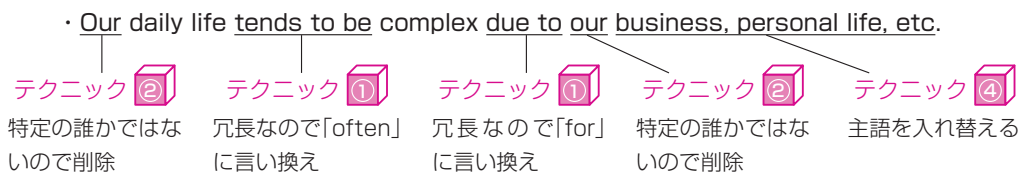
シンプルなライフスタイルはよい精神衛生状態を維持するのに重要だ

- ・われわれの生活は仕事や個人の生活のために複雑になりがちだ。
- ・われわれは、日常の事柄に心を奪われがちだが、その多くは大抵小さな問題だ。
- ・結果的にわれわれの精神衛生はたやすくこうした小さなことによって害されてしまう。
- ・ではわれわれはこうした状況に対して何ができるだろう？
- ・よい精神状態を維持するために、われわれの生活スタイルをできるだけシンプルにするのが重要ではないだろうか。
- ・おそらくわれわれは、人生の目的を考える時間をとるべきだ—これを何のためにやっているのだろうか？と。
- ・われわれは時に思い切って仕事を減らすだけの勇気が必要だ。

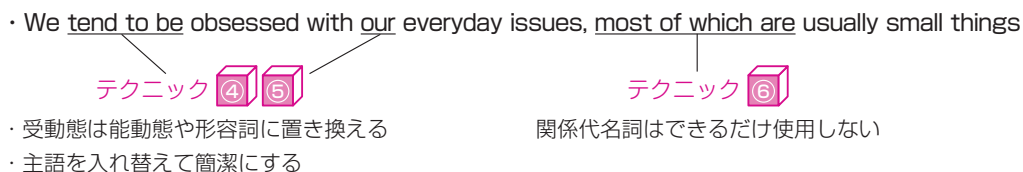
以下の 8 つのテクニックを使って 1 文 1 文を圧縮していきましょう。

テクニク

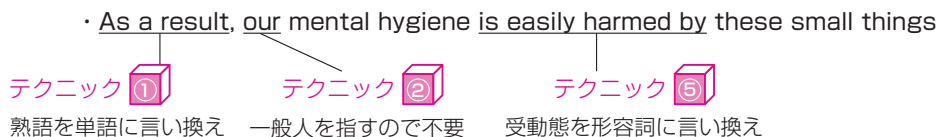
- ① 熟語を単語にまとめる
- ② 代名詞を省略する
- ③ 副詞を省略する
- ④ 主語を入れ替えて簡潔にする
- ⑤ 受動態を能動態に変える
- ⑥ 関係代名詞を簡潔にまとめる
- ⑦ 「It is---to/that---」を簡潔にまとめる
- ⑧ 婉曲表現を簡潔かつストレートな表現にする



Business, personal life, etc. often make daily life complex



Everyday issues (mostly small things) are obsessive



Consequently, these small things easily harm mental hygiene

・ So what can we do for that?—短いのでとりあえずキープ



・ In order to maintain good mental hygiene, it would be important to keep our life

テクニック ①

Toだけでも意味が変わらない

style as simple as possible

テクニック ① ⑦ ⑧

- ・ 冗長な it is to ~ の表現は避ける
- ・ 仮定法 / 婉曲表現の would は省略しても通じる
- ・ as simple as possible は冗長なので省略



To maintain good mental hygiene, keep life style simple

・ Probably we should take some time to consider the purpose of our life

--- for what am I doing this?

テクニック ③ なくても意味が変わらない副詞は省略

なくても意味が変わらないが、直接疑問の言い回しを使った強調表現なのでキープ



We should take time to consider the purpose of life --- for what am I doing this?

・ Sometimes we need to be brave enough to cut down our business

テクニック ③

ストレートな表現にするために省略

テクニック ① ② ⑧

- ・ cut down our business → reduce business
に言い換えて簡潔にする
- ・ brave を副詞の bravely に言い換える



We should bravely reduce business

After ①

Simple Life style is Important to maintain good mental hygiene

- ・ Business, personal life, etc. makes daily life complex
- ・ Everyday issues (mostly small things) are obsessive
- ・ Consequently, these small things easily harm mental hygiene
- ・ So what can we do for that?
- ・ To maintain good mental hygiene, keep life style simple
- ・ We should take time to consider the purpose of life --- for what am I doing this?
- ・ We should bravely reduce business

このように1文1文はかなりすっきりしました。しかしまだ7行ルールを満たしていません(まだ10行もある!)

①③ 箇条書きは使えないか？

①② (p.81) ではスライドの各文を簡潔にしましたが、もう少し内容面からも圧縮を試みる必要がありそうです。ここで「箇条書き」作戦を導入します。使用するのは、以下の3つのテクニックです。

テ ク ニ ッ ク

- ① 重複内容をまとめる
- ② 長すぎる1文を箇条書きにする (= 複数の文を共通項でくる)
- ③ 意味を成さない単語は文法を無視して省く (新聞の見出しは大抵そうしている)

まず、最初の3文はいくつか内容が重複していることに気づくと思います。

- ・ Business, personal life, etc. often make daily life complex
- ・ Everyday issues (mostly small things) are obsessive
- ・ Consequently, these small things easily harm mental hygiene

テクニック ③

1文目のbusiness, personal life etc.と、1文目のdaily life complex, さらに2文目のobsessiveは2文目のeveryday issues (mostly small things)のことを指しているの
で、この2文をまとめる

→ Everyday business, personal life, etc. (mostly small things) make daily life complex and obsessive



さらに主語を整理すると

Mostly small everyday things (business, personal life) make daily life complex and obsessive

テクニック ①③

- ・ Everyday thingsとdailyは意味が重複している。
- ・ mostly という修飾語は不可欠なわけではなく、むしろまわりくどい言い回しなので省略



Daily small things (business, personal life) make life complex and obsessive



ここで3文目を見てみましょう。

- Consequently, these small things easily harm mental hygiene

テクニック③ ここでのthese small thingsは、前ページにてまとめた1文の主語daily small thingsを指しているの、さらにまとめることができる

- Daily small things (business, personal life) make life complex and obsessive, and easily harm mental hygiene.

テクニック② 3文を1文にまとめたものの、1文が長すぎるので、**簡条書き(複数の文を共通項でくくる)**にしてまとめる



Daily small things (business, personal life)
 { make life complex and obsessive
 easily harm mental hygiene

同様に、最後の3文に簡条書きテクニックを使用します。

- To maintain good mental hygiene, keep life style simple
- We should take time to consider the purpose of life ---
for what am I doing this?

テクニック②③ なくても意味が通じる単語は文法を無視して省略

- We should bravely reduce business



To maintain good mental hygiene, we should
 { Keep life style simple
 consider purpose of life
 bravely reduce business

After②

Simple Life style is Important to maintain good mental hygiene

- Daily small things (business, personal life)
 - { make life complex and obsessive
 - easily harm mental hygiene
- So what can we do for that?
- To maintain good mental hygiene, we should
 - { Keep life style simple
 - consider purpose of life
 - bravely reduce business

「簡条書き」テクニックを使って、かなりシンプルにまとめることができました。

第1章 必ず押さえないといけないスライド作成の基本

第2章 「ファイタイコト」の核心に迫る黄金の7行ルール

第3章 プレゼンの基本的な流れとスライド・スクリーンショットの事例

第4章 聴衆を惹きつける魅力的なプレゼンとは

第5章 プレゼンを成功へ導くリハーサル術

①④ 因果関係の矢印を駆使する

7行ルール，内容の圧縮，箇条書きのテクニックを使用し，随分見やすいスライドになりましたが，それでも文字ばかりで少しわかりづらいです。こんなときに使えるのが「因果関係の矢印」です。After②スライド(p.85)の最初の文は，因果関係を矢印を使ってはっきりさせることができます。

- **Daily small things (business, personal life)**
 - ➡ **complex and obsessive life**
 - ➡ **easily harm mental hygiene**

この矢印はかなり使えます！

もう一工夫して，so what can we do for that ? に因果関係の矢印を使ってみると，下のようになります。指示代名詞など(ここではfor thatのthat)は意味が曖昧になりやすいので，できるだけ避けるべきです。Soもいりませんね。

After③

Simple Life style is Important to maintain good mental hygiene

- **Daily small things (business, personal life)**
 - ➡ **complex and obsessive life**
 - ➡ **easily harm mental hygiene**
- ➡ **what can we do?**
- **To maintain good mental hygiene, we should**
 - **keep life style simple**
 - **consider purpose of life**
 - **bravely reduce business**

かなりまとまってきました。しかしまだ問題が……。

そう，7行ルールがまだ守れていません！ あきらめて8行で妥協するか？ いやいや，まだまだ工夫してスライドを洗練します。何かできるはず……。

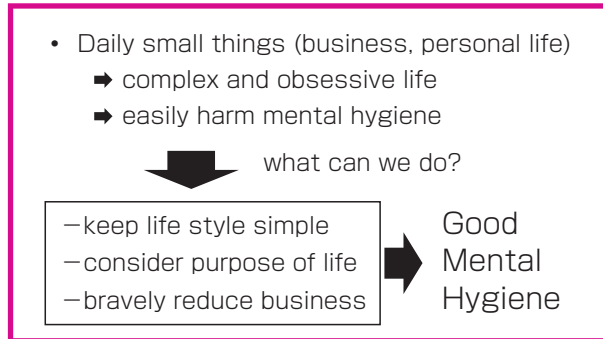
皆さんも一緒に考えてください。これはある種のゲームです。



さらに洗練されたスライドに仕上げるために、もう一工夫しましょう。

After③ スライドの what can we do に対する答えは最後の3行で、maintain good mental hygieneはその3行を実行した結果とも言えます。ここで再び因果関係の矢印を使って、**After④-1** のようにまとめることもできます。

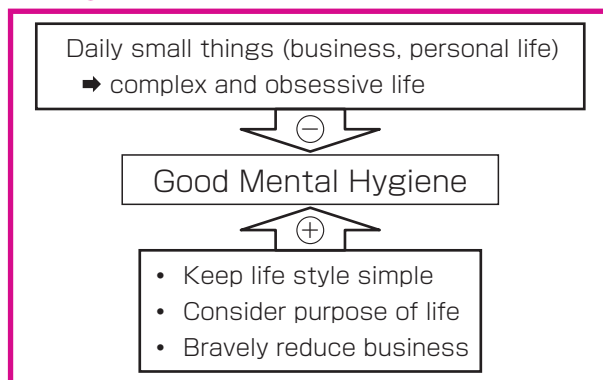
After④-1



ここではmaintainがなくとも意味が変わらないので、省いています。

もう1つ別のアプローチを紹介します。結局このスライドは「精神衛生に悪い影響を及ぼすものと、よい影響を及ぼすものを表している」と考えると、“good mental hygiene”を中心に持ってきて、**After④-2** のようなスライドにすることもできます。やはり因果関係の矢印が利いています。

After④-2



因果関係の矢印を最大限に駆使！